

第3回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

場 所：東久留米市役所7階701会議室

日 時：平成28年10月24日（月）14：00～15：30

出席者：（敬称略・順不同）

（審議会委員） 松波委員 紺野委員 佐藤委員 工藤委員 井田委員 酒井委員
桑原委員 斎藤委員 松田委員 田原委員

（事務局） 山下部長 中谷課長 上田管理係長 曾田

（コンサルタント）株式会社市川環境アセス 吉田氏 鈴木氏

傍聴希望者 なし

配布資料

資料1：第2回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

資料2：新たな施策の体系

資料3：他自治体における有料化実施前後の推移

資料4：ごみ・資源量の推計（現状維持）

〈東久留米市廃棄物減量等推進審議会〉

1. 会長より開会の挨拶
2. 事務局より、配布資料の確認
3. 第2回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録の承認
4. 議題

〈新たな施策の体系について〉

【委員】ダンボールコンポストの堆肥の使用方法の検討をしたほうが良い。また、学校で取り入れることで教育にも繋がる。

【委員】環境学習では、インセンティブを与えることや、マスコットを使用する、職員のユニフォームを工夫するなど、やる気を向上させることが効果的である。

【委員】粗大ごみは、まだ使用できるものが排出されているのをよく目にするため勿体ない。

【委員】市では粗大ごみのリユース事業は取り組んでいるのか。

【事務局】 行っていません。

【委員】 他市でも多く行っており、取り入れたほうが効果的である。

【委員】 不燃ごみ・小型家電等の2次分別は行っているのか。

【事務局】 市では行っていませんが、柳泉園組合で行っています。

【委員】 古布は少しでも濡れると燃やせるごみとなるため、悪天候時の排出方法を工夫する必要がある。

【委員】 小型家電の拠点回収場所の周知があまりされてなく、市民で理解している人が少ないため、場所の周知をする必要がある。

【委員】 イベント等の啓発活動では、環境関係のイベントでは、環境に関心を持っている人が集まってくるため、あまり効果が得られない。今後は、環境に関心のない人に興味を持たせるためにも、環境以外のイベントで啓発活動を行う必要がある。また、関心のない人に興味を持たせるために、芸能人等と一緒にイベントするのも効果的である。

<他自治体における有料化実施前後の推移、ごみ・資源量の推計について>

【委員】 目標値について事務局の考えはあるのか。

【事務局】 排出原単位は、現行計画の目標値を採用し、ごみ・資源量については人口の増減に左右されるため、変更もありえると考えています。

【委員】 東久留米市の排出原単位は、多摩地区の他市と比較しても低い状況にある。その中で、更なる減量が必要となるため、有料化と戸別収集の効果が他市と同様の傾向を示さない場合が考えられるが、目標達成は可能か。

【事務局】 東久留米市と同様にボックス収集から戸別収集・有料化へ変更した自治体があります。そのなかで、大きく減量した事例があります。そういった事例や、戸別収集・有料化以外にも施策を取り組むことから、目標は達成すると考えています。

<その他>

次回の日程は11月28日の開催を予定しています。